令和４年度

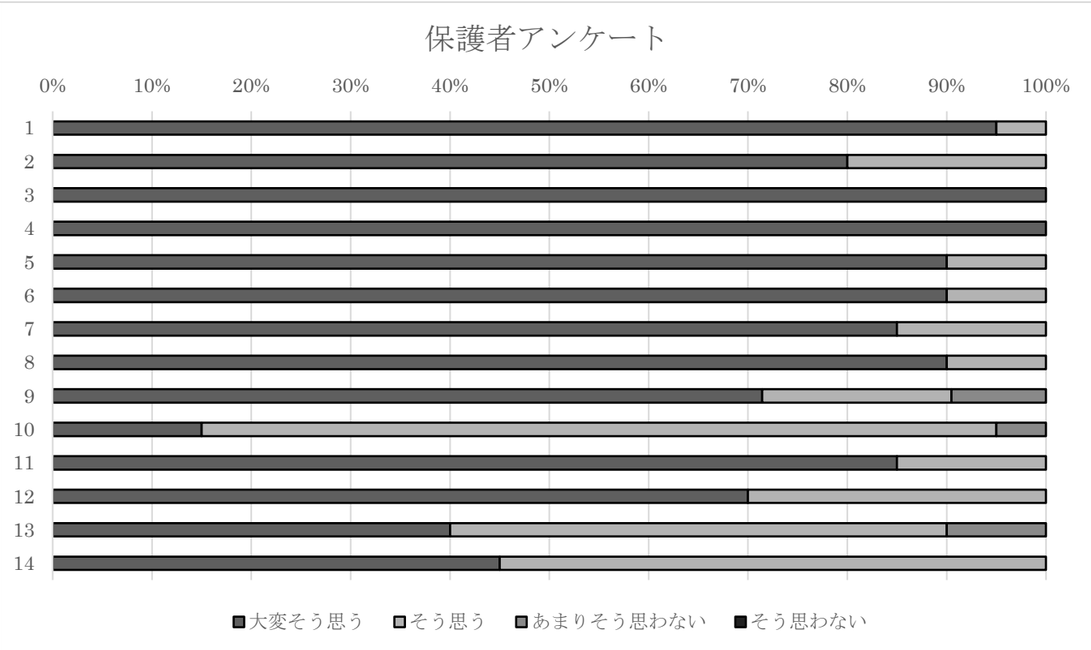
乾隆幼稚園だより特別号

京都市立乾隆幼稚園

園長　豊田 寿美夫

保護者・地域のみなさま，本校の学校教育にいつもご理解とご協力ありがとうございます。
（1月）に実施した保護者アンケートの集計ができました。結果をお知らせいたします。

1	幼稚園は教育目標「心身ともに健やかで生き生きとした子どもを育てる」に向けての保育を行っている。
2	幼稚園の環境は，安全で子どもが豊かな経験ができるように整えられている。
3	保幼小連携・地域との連携等の取組は子どもの育ちにつながっている。
4	幼稚園には，さくらんぼ組や預かり保育等の子育て支援の取組のあることを知っている。
5	幼稚園は，お便り（子どもの姿）やホームページで活動の様子がわかるように発信している。
6	教職員は，子ども一人一人に温かいかかわりをしている。
7	教職員は，生き生きと働いている。
8	お子さんは，楽しく幼稚園に通っている。
9	お子さんには，今，夢中になっているものがある。
10	お子さんは，自分のことは自分でしようとする。
11	お子さんは，家族，友達，先生など周りの人に親しみをもってかかわっている。
12	お子さんは，楽しんで預かり保育に参加している。（利用者のみ）
13	「ノーテレビ，ノーゲームデー」の取組だけでなく，普段から親子で絵本を読むことを続けている。
14	幼稚園での出来事など，お子さんの話に共感したり対話したりする機会は多くもてている。



新型コロナウイルスが世界中に被害をもたらすようになってから４回目の３月を迎えます。ようやくウイズコロナとして強制的な制約からそれぞれが判断しての状況になってきました。コロナ禍以前の活動と同じところまではいきませんが、できることは増えてきました。生活発表会もマスク着用は必要ですが、保護者の皆様には全園児の様子を見てもらうことが出来ました。預かり保育の中でも絵本ママの他、後期からはサッカー教室や茶道体験も再開できています。入園募集の厳しさは変わりませんが、今のちゅうりっぷ組に転入園児が入ったり、未就園さくらんぼ組の参加人数が増加したりしています。今後も一番の重点事項として取り組んでいきたいと考えています。

今回の項目の考察です。

・項目１　本園を選んできていただけている保護者の方のアンケートですので今回も良い評価をいただいています。特に少人数だからこそ生きる異年齢の取組については保護者の記述欄に「自然と上の学年の子どもたちから刺激をもらっている」という感想もいただいています。すべての子どもが主体性を大切にして遊び込む中で生きる力を育てる保育を今後も続けていきたいと思います。

・項目２　遊具の点検や危険個所の修繕については、最優先で行っています。ご指摘をいただいた総合遊具はやすりでこすり錆止めを塗った状態で止まっていますが、年度末までには本塗を行う予定です。サクラの古い枝は撤去してもらいました。保護者の皆様もお気づきになったことがあれば幼稚園にお伝えください。１００周年記念のポール時計も修理しました。豊かな経験ができる環境としては、四季折々の野菜作りは次年度も行いたいと思っています。

・項目３　乾隆小学校との交流で言えば、すみれ組が２年生の生活科の学習に参加させてもらいました。地域とのつながりではすみれ組の織物体験に関して教えていただいたり、織成館の見学をさせていただいたりしました。記述欄に「『地域の方々や学校等に守られながら育つ』という感覚は大切なことがと思うしこれからも続けてほしい。」とご意見を頂戴しています。

・項目４　保護者記述欄に「サッカーやお茶など、預かり保育の中で色々な経験ができるようになり、子どもも楽しそうです。」とのご感想もいただいています。

・項目５　ホームページは本園の弱い所でもありますが、発信の重要性は意識しています。保護者の皆様には直接会ってお話ができる幼稚園ならではの良さは、今後も活かして参ります。

・項目 6、7 は教職員に関しての項目です。京都市の「一人一人の子どもを徹底的に大切にする」という教育理念，「誰一人も取り残されない」というＳＤＧｓの理念を絶えず念頭に置き、教職員の働き方改革も含めて考えていきたいと思います。

・項目 8 から 12 は、子どもたちに関する項目です。特に項目 8 の楽しく幼稚園に通っているが良い評価なのは嬉しいです。毎回低い評価になるのが項目 10 と 13 です。幼稚園期に自分でやれることが増えてくるのですが、少々失敗しても周りの大人が我慢して待てるかどうかがポイントです。また個人差があるので、兄弟姉妹や友達と比べてやっていることを認めないとますますやらなくなります。子どものやる気を伸ばす言葉がけ、見守りをお願いします。項目 14 にもつながることだと思います。記述欄に「プラスチック製のプレイハウスにのぼる子がいます。注意する保護者もいますが、気にしない方もいます。見ていてハラハラします。」とのご意見がありました。幼稚園児から「あかんことはあかん！」という規範意識を育てていくことは大切です。気になることに気づいたときには、周りの大人みんなが注意できるといいですね。その年代の子にわかるように諭すのはなかなか労力が入りますが、少人数園の良さとしてみんなの力を合わせて取り組みましょう。

・項目 13 も項目 14 も是非習慣化をしてほしい内容です。小学校からではなく今から実践です。

・その他、ランチ（業者弁当）は原則月・金で行なっています。週の回数を変えないでほしいとの記述がありました。またランチについては保護者の方とお話しできればと思います。昨今の物価上昇に伴い、次年度 1 食分が 302 円から 335 円に値上がります。